

1

令和5年1月23日、第211回国会が開会。
吉田豊史は無所属の議員としての立ち位置で
臨みます。応援よろしくお願ひします！

2

2月26日、富山市東部地区
センターで2023年初の
吉田豊史国政報告会を開催いたしました。寒い中にもかか
わらず、たくさんの方に足を
お運びいただき、
ありがとうございました！



(財務金融委員会出席中の吉田豊史)

3

進むのかを確認するためには、日本のリーダーであり、舵取り役の岸田総理の考えをまず知る必要があります。

◎岸田総理の「新しい資本主義」とは何か
これがキーです。

岸田総理の「新しい資本主義」は
「成長と分配の好循環」を実現するために
官民協力し、あらゆる政策を総動員することとしています。吉田豊史はかねてから「
経済成長でイイネ！の政治を目指す」と
「所得アップでチャレンジできる未来へ」
を訴えているので、「成長と分配の好循環」という大きな方向性は、まさに期待するところであり、強く同意いたします。
しかし、出てくる予算の中身は、この最重要観点からは整合の取れない期待外れのことばかりでした。

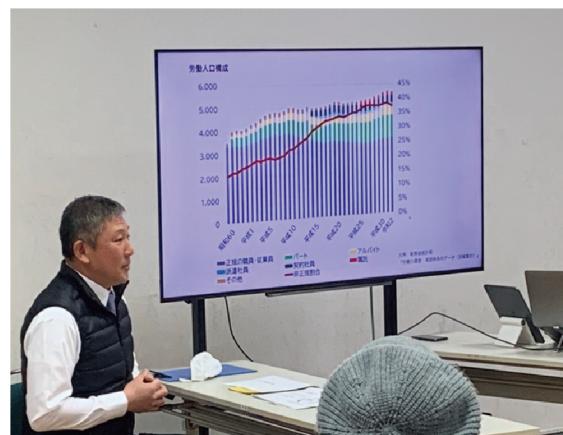
4

◎国の令和5年度予算案について
施政方針演説と同時に本国会に
国の令和5年度予算案が提出されました。
ちょうど国政報告会は衆議院予算委員会での審議のヤマ場の時期でした。（2/28衆議院通過済）

吉田は予算案に反対したのですが、その最大の理由は、岸田総理の予算に、中身に「新しさ」がないことです。経済回復や日本経済の成長、地方の活性化につながる予算案とはとても言えませんでした。
今回の予算案では主に
・防衛力の抜本的増強
・こども子育て政策
の2つが主な争点として議論されています。
防衛力の抜本的増強ですが日本の三つの方向に民主主義ではない国家があり、ものすごいスピードで軍備増強をしているのは言うまでもありません。天然資源を持たない

日本は平和の中で生きていく国ですが極端にパワーバランスが崩れた時に戦争は起きやすく防衛力の強化は必要です。しかし最初に金額ありきという話ではありませんし、議論なく急に方向が変わるという、民主主義の基本である丁寧な議論というプロセス、手法を無視した進め方に憤りを感じます。そして、財源確保として最初から増税というメッセージ。「成長と分配の好循環」を打ち出したあとに増税メッセージでは経済成長には繋がらず、やろうとすることとやってることに大きなチグハグ感を感じます。こども・子育て政策については、岸田チームの言葉が現場感が薄く、それゆえに出てくる政策や言葉が軽くふらふらしている印象を受けます。なによりも現場において、こどもを産み育てるこの最大のハードルである「生活が安定していないとライフプランが立てられない」という視点

が欠け落ちています。アベノミクスの間に就業者数が約500万人増加したのはすごいことですが、その方達の大半が正規の従業員になるところまでは行きつかなかった。雇用の確保・創出と賃金上昇に加えて雇用の安定をどう実現するかが問われる予算でした。



(熱く解説中の吉田豊史)

だから、そこになんの新しさや期待が感じられなかつたことは本当に残念です。

◎財務金融委員会

予算委員会の裏で所得税法一部改正の審議が行われます。「資産所得倍増プラン」の目玉のNISA拡充ですが、まず貯蓄が100万円未満の人が全体の約3割という現状を変え、以前この日本に存在した分厚い中間層の状況に引き戻す施策とパッケージであるべきです。

◎エネルギー課税

ガソリンのトリガー条項解除の方が効果的。税制がわかりにくすぎます。わかりにくさは国民を混乱させる、挑戦を妨げる、納得感がない。

税制全体の仕組みを組み直すべきだと言うほかありません。

吉田豊史公式 LINE
おともだちになってね！



吉田豊史公式 HP
吉田の活動がネットで
わかります



Politic Company23 REPORTS (政策討論資料)

企画制作：吉田豊史国会事務所 東京都千代田区永田 2-1-2-1112
発行：Politic Company23 (吉田豊史応援会)
〒930-0975 富山県富山市西長江 3-1-14 TEL076-495-8823 FAX 076-495-6623

ホットでクールなご感想をぜひおきかせください。おまちしております。
ご事情により本資料がご迷惑になる場合は恐れ入りますがご一報ください